

# 議会だより

伊那市議会事務局

TEL0265-8149  
FAX0265-9117  
Email gki@inacity.jp

Vol.21

## 経済建設委員会 活動報告

5月臨時議会において市議会経済建設委員会も新しいメンバーで始動しました。任期は二年間。所管する業務の課題発見と、早期解決に向け活動してまいります。その第一歩として、現状認識とめざす方向性を共有していく方針です。今回はその一環で農業委員会・商工会議所・JA上伊那との懇談会を開催しました。いずれも国政や経済情勢の変化の中で、当事者と市と議会の三位が連携し協働してこそ将来が展望できることを確認し、今後も積極的な協議の場を設けることになりました。

## 農業委員会の果たす役割

7月7日に農業委員会との懇談会を開催しました。

昨年、農業委員会から市に提出され、回答を得ている「伊那市の農業振興について」では、従来ややもすると無秩序な宅地化・開発などが行われ、優良農地のスプロール化現象が起き、農業がやり難くなっている現状説明があり、新土地利用計画を早期に策定し、明確な線引きをしてほしいと、農業委員から切実な問題として提起されました。

政府が現在検討している、



農業委員との懇談会の模様

農業委員会制度・組織改革については、「誰のための改革なのか理解できない。まず農業委員を公選制から選任制にした場合、地域信任を得た委員と違い、業務に責任を持って取

り組めるか疑問」

「選任制委員の2分の1は認定農業者を選任することであるが、認定農業者にはそのような時間的余裕はないのが実情」

また、「農業生産法人要件緩和により、株式会社などの農地取得を認めれば、事業撤退し農地放棄された場合の農地の復元リスクが考えられる」など、改革案の諸問題について双方の認識の共有が図られました。

## 伊那の魅力再認識を！

## 伊那商工会議所との懇談会

7月15日に伊那商工会議所との懇談会がありました。定住促進や観光振興などに関し、活発な意見が交わされました。

伊那の魅力と可能性に関する議論では、「アルプスに囲まれた地域は日本で伊那谷だけ。大きな可能性がある」との意見が出たものの、「地元で生まれ育った自分たちが伊那の魅力に気付いていない」との指摘も多く、「伊那を見る外からの視線」の重要性についての意見が出しました。

中心市街地活性化について

も議論し、川上健夫会頭は自身が参加している商店街の勉強会での会話に触れ、「オーガニック商品を扱う店主が『儲からないけど、新聞配達をしてでも続けたい』と語っていてびっくりした。我々は競争社会をどう生き抜くかということばかり考えてきたが、時代の流れが変わってきたようだ」と語り、出席者からは「伊那の魅力に共感する人は確実に増えている。魅力を再認識し、情報発信に力を入れるべき」との意見が相次ぎました。



伊那市の中心市街地

## 農協と行政・市民の連携を

7月17日に上伊那農業協同組合の牛山喜文専務と下村篤常務を市役所にお招きして懇談会を開きました。

農協側からは「規制改革会

議は農協の金融・共済事業を農協から分離することなどを求めているが、総合事業で成り立っているような上伊那農協は、営農指導も販売事業も破たんする。とうてい容認できるものではないが、農協も改革して農家・組合員のためにがんばる」との決意が述べられました。

議員側からは、農畜産物の全国市場の中における上伊那農協の位置や、ブランド化や6次産業化などでのいくつかの質問や提案がありました。

最後に農協と行政と市民が連携してこの難局を乗り越え、地域の生活を守り、産業としての農業を興していく総力戦として、ともに頑張ることが確認されました。



日本一おいしい伊那の米